

夏季合同実習 (都立両国高校・都立富士高校)

2026年8月3日～7日 場所：都立科学技術高等学校

8月3日（月）から8月7日（金）の5日間にわたり、本校にて「夏季合同実習」を実施いたしました。本実習は、本校のSSH事業の成果を広く普及することを目的に開催されました。

今年度は本校創造理数科に加え、東京都立両国高等学校および東京都立富士高等学校の生徒が参加しました。本校の専門設備を活用し、他校の生徒とともに切磋琢磨することで、科学的リテラシーの向上と多角的な視野を育む有意義な交流の場となりました。

■ 実習内容

第1日・第2日：微生物実験概論（8月3日・4日）

クリーンベンチやオートクレーブ等の専門機器を使用し、段階を追って無菌操作の論理と実践を学びました。

第3日・第4日：クロロフィルの分離と吸収スペクトルの測定（8月5日・6日）

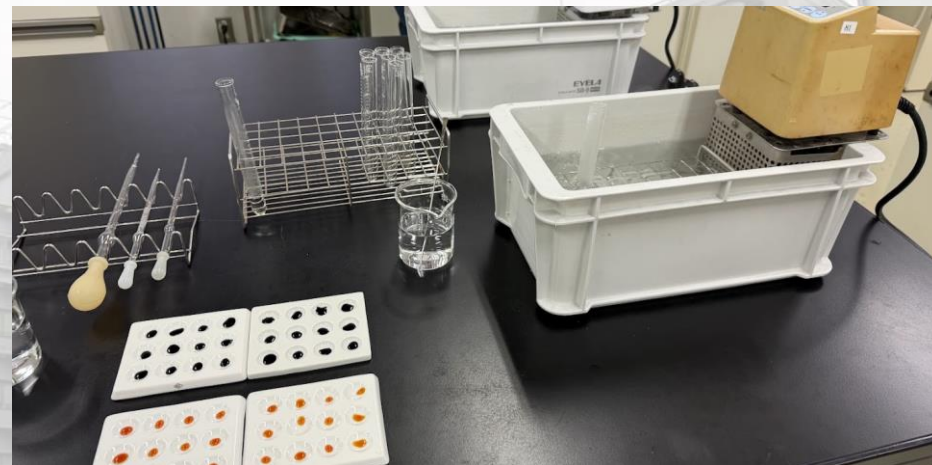
クロマトグラフィーによる色素の分離と、紫外可視吸光度計（UV-Vis）を用いた吸収スペクトルの実測を行い、分子レベルでの定性的理解を深めました。

第5日：酵素反応速度論：アミラーゼの最適温度の同定（8月7日）

アミラーゼの反応速度を実測し、温度条件の変化が酵素活性に与える影響を解析することで、その最適温度を論理的に導き出しました。

■ 参加生徒の感想（抜粋）

- ・普段の学校にはない専門的な実験器具が使えて、とても良い経験になった。
- ・生物は暗記が多い大変なイメージだったが、実際に実験をしてみると楽しくて興味深い分野だと感じた。
- ・アミラーゼが最も活発になる温度が、種類によって違うことに驚き、視野が広がった。
- ・同じ場所でも集まった菌の種類が違うことに驚いた。自分でも培養してみたい。



実習の様子（酵素反応実験）



実習の様子（微生物実験）